

「2型糖尿病合併骨粗鬆症におけるデノスマブの有効性の検討」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 11 月 27 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

2型糖尿病合併骨粗鬆症におけるデノスマブの有効性の検討

〔研究目的〕

糖尿病は様々な合併症を引き起こす疾患で、代表的なものに網膜症や神経障害、腎症があります。「骨粗鬆症」も糖尿病の合併症のひとつで、糖尿病では骨折が多いことが明らかになっています。骨粗鬆症の治療薬のひとつであるデノスマブ(プラリア®)は、2型糖尿病合併骨粗鬆症においても骨密度増加効果や骨折予防効果があるとされています。しかし、デノスマブによる治療前に、他の骨粗鬆症治療薬を使用している場合の骨密度増加効果への影響については明らかにされていません。そこで今回、2型糖尿病合併骨粗鬆症に対するデノスマブ開始後 1～3 年の骨密度変化と、デノスマブ使用前の骨粗鬆症治療が骨密度変化に与える影響を評価します。

〔研究意義〕

一般診療において日本人2型糖尿病合併骨粗鬆症に対するデノスマブによる治療が、有効であるか否かを明らかにすることができます。また、他の薬剤による骨粗鬆症治療歴がある場合にも、デノスマブが有効であるかを明らかにすることができます。

〔対象・研究方法〕

2014 年から 2024 年の 11 年間に、デノスマブを使用した2型糖尿病を合併する骨粗鬆症の患者さんを対象としています。既存の電子カルテ情報から併存疾患や骨折の有無、骨密度の変化、ビタミン D 充足状態などのデータを収集します。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター第三内科

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は診療録内で管理し、外部に漏れる心配はありません。研究が終了しデータ保存期間終了後に完全に削除します。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 井上 玲子 職名 講師
研究分担者:氏名 高村 悠里亜 職名 助手
所属:帝京大学ちば総合医療センター第三内科学講座
住所:千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211 (代表)